

合宿テニス部が「教室」

奄美大島 145人参加

奄美大島で春季合宿中の日本工学院専門学校テニス部（山本博文監督）は11日、奄美市の名瀬運動公園庭球場でテニス教室を開催した。奄美大島の高校生一般の145人が参加。サーブやボレーなどの基本、体の動かし方などを学んだ。



実技を交えて指導した坂井さん(中央)＝11日、奄美市の名瀬運動公園庭球場

2017. 3. 12
南海日日

教室には同部の選手やコーチのほか、日本テニス協会の常務理事でテニスカップ日本代表監督を歴任した坂井利郎さん(69)が講師を務めた。坂井さんは「打ち返す前にボールの回転をよく

見て打つ、膝をハネにして使う」などとアドバイス。参加者は坂井さんの手本を見ながら各コートに分かれてスマッシュやサーブなどを約2時間練習した。奄美高1年の平島兼介さん(16)は「ラケットの構えなど基本的な動作やスマッシュなどの打ち方などを勉強できた。学んだことを今後の試合で

も生かしたい」と話していた。指導を終えた坂井さんは「皆さんが私の説明を熱心に聞いてくれた。奄美の選手はレベルが高

く、向上心も強い。テニスは生涯プレーできるスポーツ。これを機に奄美でも、競技人口が増えてくれたら」と期待した。



坂井さん(前列中央)とクリニック参加者ら(提供写真)

2017. 3. 12
奄美

元の高中生や大人を対象にテニスクリニックを実施した。同運動公園を拠点に奄美合宿を行っている同部が地元向けに開いたイベントの一環。約60人が「デビューのきっかけが欲しい」と話した。坂井さんは「素質を持ったこれからが楽しみな子もいた。子どもたちがこれからはテニスを続けてくれたら。また教えに来たい」と話していた。同専門学校にはスポーツ学科があり、奄美合宿には部員7人が参加している。この日は「神様のような方。基本から教えてくれた。すごく勉強になった。奄美市名瀬の名瀬運動公園テニスコートで、地元の美高生や大人、同専門学校テニス部員が参加する親善試合も実施した。

総監督も務める坂井利郎さん(69)が11日、奄美市名瀬の名瀬運動公園テニスコートで、地

元の高校生や大人を対象にテニスクリニックを実施した。同運動公園を拠点に奄美合宿を行っている同部が地元向けに開いたイベントの一環。約60人が「デビューのきっかけが欲しい」と話した。坂井さんは「素質を持ったこれからが楽しみな子もいた。子どもたちがこれからはテニスを続けてくれたら。また教えに来たい」と話していた。同専門学校にはスポーツ学科があり、奄美合宿には部員7人が参加している。この日は「神様のような方。基本から教えてくれた。すごく勉強になった。奄美市名瀬の名瀬運動公園テニスコートで、地元の美高生や大人、同専門学校テニス部員が参加する親善試合も実施した。